

# 湛水土中(カルパー)直播栽培特報 第2号

令和5年5月  
富山市農業協同組合  
富山農林振興センター

<目指せ！うるち玄米1等比率90%以上！！>

- ◎ 苗立後は、**浅水管理**を徹底し、初期分けつを確保しましょう。
- ◎ 除草剤は、使用時期の範囲内で**遅れないように散布**しましょう。
- ◎ 5月下旬頃から茎数は急激に増加します。**溝掘りと中干しは遅れずに実施**しましょう。

## 1 出芽後の水管理

### ① 苗立後～6月上旬【浅水管理】

- ・ 出芽が揃ったら、**朝早又は夜間にかん水し、日中は止め水で3cm前後の浅水管理**を行い、生育の促進をはかり、早期分けつ確保に努めましょう。
- ・ 表層はく離が見られる場合は、2日間程度の田干しを行い、田面を落ち着かせましょう。

### ② 5月下旬～6月上旬【溝掘り】

- ・ 水管理をスムーズに行うため、**6月上旬までに必ず溝掘り**を行いましょ。
- ・ 10～15条に1本の割合で溝を掘り、水尻としっかり連結しましょう。

### ③ 6月上旬【中干し開始】(目安：5月初旬の播種で6月10日頃)

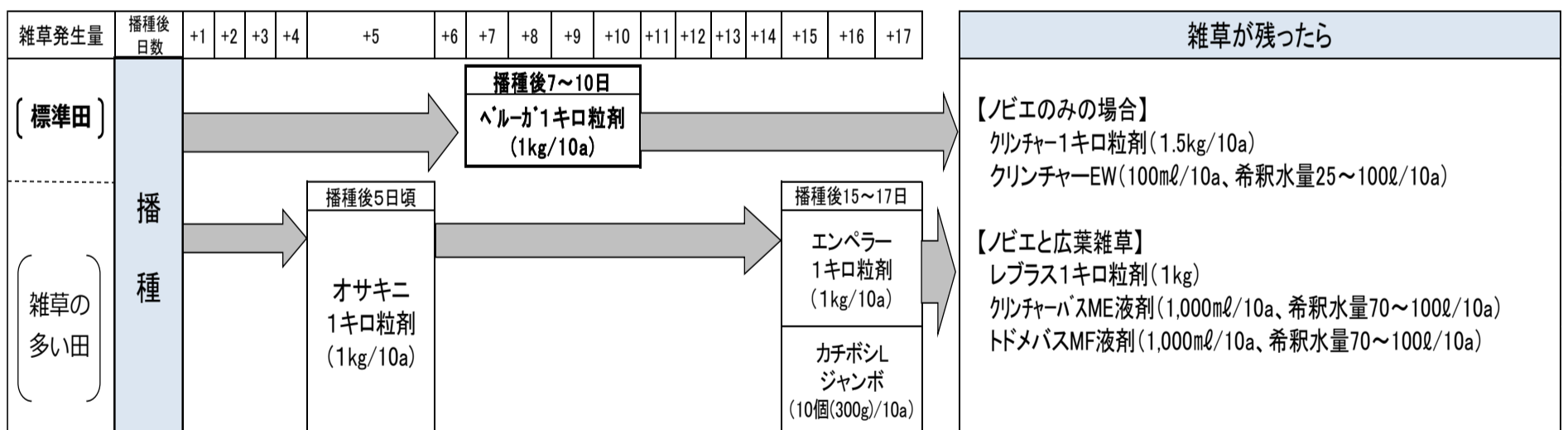
- ・ 過剰分けつを抑え茎の充実をはかるため、**茎数100本/m(6.5葉期頃)を確保したら遅れずに中干しを開始**しましょう。
- ・ 土の表面に小さな亀裂が入り、田面が硬くなるまで田を干しましょう。



中干し時期のほ場

## 2 雑草防除

- ・ 田面の亀裂が大きい場合は、入水後、減水が落ち着いてから除草剤を散布しましょう。
- ・ 散布後5日間は確実に**湛水状態を保ち**、散布後7日間までは落水をしない**止水管理**を徹底しましょう。



※( )は 10a 当たりの使用量

## 3 葉いもち防除

- ・ 葉いもちの発生を防止するため、**予防粒剤を必ず散布**しましょう。

散布時期	薬剤名	散布量	備考
6月10～15日 (中干し後)	オリゼメート 1キロ粒剤	1kg/10a	薬剤施用後4～5日間は「湛水状態」を保ち、7日間は落水や掛け流しをしない

○春の農作業安全確認運動「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」(3月1日～5月31日)  
○STOP！農業機械の盗難被害!! ～営農に不可欠な機械を守りましょう!!～